



被災後 心癒やした光

洋画 「黎明」

崇城大教授 熊谷 有展さん

「黎明」は夜明けや明け方。比喩的には新しい物事の始まり。熊谷さんは黎明に複雑な思いがある。2016年に熊本地震で被災した後、夜明けを迎えるのがつらかつ

た。朝日を見るたび「また片付けをしないといけないのか」と落胆し続けたからだ。しかし心は徐々に回復。静寂で荘厳な朝の光が癒やしになり、キャンパスに向かう心を奮い立たせた。

出品作は黎明シリーズ最新作。30年前から家族の愛や人間の原点を伝える母子像を作っているが、黎明シリーズは人間の強さや気高さ、無限の可能性を秘めている。

◇ (尾野益大)

美術展は16日まで吉野川市文化研修センターで開かれている。

アート輝く
吉野川市の美術展

②